

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495200170	事業の開始年月日	平成24年3月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社日本アメニティ教会			
事業所名	花物語なかはら新館			
所在地	(211-0051) 川崎市中原区宮内2-17-35			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	25名	
		通い定員	15名	
		宿泊定員	9名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成25年11月13日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月1日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

花物語なかはら新館は溝の口駅、高津駅、小杉駅からバスで西下橋であり、徒歩2分程度です。また、武蔵中原液、武蔵新庄駅からも徒歩20分程度の徒歩圏内で利便性に優れた立地にあります。また、駐車場も広く取っていることから利用者様のご家族や知り合いなど幅広く面会に見えられます。小規模では利用者様、ご家族様に合わせた送迎を行い、介護がご家族の負担にならないよう在宅支援を行っています。また、畑づくりを行い収穫の喜びを共有し、日々の食事に取り入れることで楽しみの支援を行っています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年11月21日	評価機関 評価決定日	平成26年2月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所概要】 この事業所は、JR南武線武蔵新城駅、武蔵中原駅から徒歩20分ほどの住宅街にある。私鉄の最寄り駅からも多数のバス便があり、交通に便利なところである。鉄骨3階建ての2・3階は併設のグループホーム、1階が当該事業所となっている。隣接した敷地内に、同法人が運営する「花物語なかはら」の2事業所があり、運営推進会議は合同で行っている。自分らしい暮らし方を尊重しながら、地域との交流、お花見などの外出、四季折々の行事、畑仕事などを採り入れた活動を支援している。 【運営推進会議を活かした地域交流】 運営推進会議での地域連携、調整機能を活かした地域交流が図られている。地域の情報やニーズをよく知る民生委員がパイプ役となり、いも掘りのできる畑を探していた保育園と地域交流を考えていた当該事業所とを橋渡しして、子供たちとの「いも掘り行事」が実現している。当日は事業所側が車を出して迎えに行き、保護者、地域住民、利用者家族、同法人利用者も参加する盛大な行事となった。利用者にとっても、日々手入れをしていた畑で、子供たちの笑顔を見ながらの収穫作業は、喜びもひとしおであり、来年以降も続けてゆくことで双方合意している。 【理念を反映した地域交流】 事業所では、地域の方々が気軽に立ち寄り、お茶を飲みながらゆっくりおしゃべりを楽しんでもらう「開かれた場」作りに取り組んでいる。本を選んですぐに帰ってしまうことが多かった「図書コーナー」に週刊誌などの軽い読み物を取りそろえ、利用者からも好評を得ている。本格的な足湯を開放する準備を進めている。理念を反映し、地域との日常的な交流の実践に努めている。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語なかはら新館
ユニット名	小規模多機能

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>施設理念を念頭に置き、職員が一丸となり利用者様一人一人にあった支援を行うよう心掛け、自宅にいるようなくつらさを感じていただけるよう日々の介護を行っています。</p>	<p>理念は、開設時に管理者や準備スタッフが話し合って作成している。法人理念を礎にして、地域に開かれた場を目指し、利用者一人一人が主人公であるとした理念である。事業所の現状にあっていると判断し、現在も継続している。フロアや職員休憩室などに掲示し、カンファレンス時は、理念に立ち戻って話し合い、共有と実践に努めている。管理者が、抜き打ちで職員に理念の暗唱を求めることもある。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入し、小規模ホールに図書コーナーを設置し、近隣の皆様に気軽に遊びに来て頂き、利用者様と触れ合ってもらったり、施設のイベントの際には地域の方にもお声掛けをし、交流の機会を増やすよう心掛けています。</p>	<p>盆踊りなどの地域の行事に参加している。春日神社の例大祭では、事業所の駐車場を神輿の休憩時として開放し、酒肴を振る舞っている。祭りの雰囲気存分に味わい、のど自慢大会に出場する利用者もいる。今年度は、民生委員の橋渡しで、利用者が手入れをしている畑で保育園の子供たちとも掘りをして楽しい時間を過ごしている。近隣高校合唱部によるミニコンサートは、終了後にバイキング形式の食事を催し、交流している。保育園、高校とは、今後も継続行事となるよう協約している。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>施設の見学会や町内会館を利用した説明会を開催し、近隣の方々を招いて施設の説明と同時に認知症や介護保険についても説明を行っています。また、認知症の方でも住み慣れた地域において暮らして頂くために小規模の利便性をお伝えしています。</p>	/	
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の民生委員や包括支援センターなどの方にもご参加頂き、運営推進会議で頂きご意見をもとに、ご要望に合わせて検討、実施をしています。</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月ごとに開催している。参加者の負担軽減のため、併設のグループホーム、隣接した敷地内の2事業所と合同で行い、地域の情報を得たり、各事業所ごとの活動状況を報告し、意見交換をしている。当該事業所では、通いサービスの回数や、長期間の宿泊サービス利用者についての評価も受けている。災害時における地域高齢者の受け入れ、事業所連絡網への参加依頼などを話し合い、自治会との相互協力が進められている。外部評価結果や家族アンケートの報告もしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中原区近隣の地域包括支援センターや、中原区の高齢者支援課へ定期的な訪問し、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしたり、相談に乗って頂いたりアドバイスを頂いています。	中原区の担当者には、運営推進会議の議事録を届け、利用者の様子や活動状況を報告している。要介護認定更新時の訪問や困難事例の相談などでも、事業所の現状を伝え、連携を深めている。地域包括支援センター職員は、運営推進会議の構成メンバーでもあり、事業所側が地域ケア会議に参加したりと情報を共有しながら、協力関係を築いている。川崎市の小規模多機能型居宅介護協議会に参加して、情報交換している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて「身体拘束ゼロの手引き」をもとに、事例検討を含めて職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている利用者様はいらっしゃいませんが、必要に応じてご家族を含め話し合いを行っています。また、施設玄関については防犯上施錠されていますが、利用者様のご希望に応じて職員と共に買い物、散歩、受診等の外出をしていただいています。	定期的に研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。テラスに続くガラス戸は、利用者が自由に日光浴や気分転換ができるよう、施錠していない。庭続きで外に行けることから、テラスの周囲にプランターを配し境界線を明確にしている。食事作りなどの時間帯は、ガラス戸が全開しないロックを掛けるなどの工夫をしながら安全を確保している。勤務の交替時は、利用者の様子や人数を確認することも徹底している。帰宅願望の強い利用者には、落ち着いてもらえるような声かけをしながらより添っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つよう心がけています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	認知症ケアを行う上で、必要な知識として、職員間でも勉強できる場を持ち、必要とされる利用者様がいらっしゃった場合にはいつでも相談・支援できるよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご利用頂いています。身体的な問題がある方や、認知症が進まれた方には、その対応方法を具体的に提案し、ご家族のご意向として、ケアに反映しています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>送迎の際にご利用者様のご自宅での様子を伺ったり、連絡帳を使い、ご家族のご要望を伺ったり、自宅訪問、電話連絡などを密に取り、利用者様の体調管理、ご要望など職員とご家族が共有しています。</p>	<p>訪問サービス、通いサービスの送迎時、ケアマネジャーの定期訪問などで意見や要望を引き出すよう努めている。口頭で受けた日々のケアへの要望や事務的な連絡は、「業務用ノート」に記入し、申し送りに対応したり、速やかに話し合いをしている。通いサービスの連絡帳は、家族からの記入欄を設け、文書でも要望を表せる様式に変更している。3ヶ月に1度、家族宛てに「花物語なかはら新館通信」を送付し、日々の暮らしぶりを伝えている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会社全体の運営会議やスタッフ会等を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。日々のケアやカンファの中で、意見の検討を行いながら随時取り入れています。</p>	<p>職員からの意見や提案は、併設のグループホームと合同の全体会議、単独で行うスタッフ会議などで聞いている。調理に取りかかる時間が早まり、利用者で過ごす時間が減っているとの意見が挙がり、タイムスケジュールの再検討をしている。各勤務帯での業務内容の見直しなどの提案は、職員間で話し合い、サービスの向上に活かしている。契約更新時の個人面談や、管理者が出席する運営会議の準備段階でも、意見や要望を聞く機会を設けている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>契約更新時に個人面談をお子愛、就業時間の増減や、契約社員や社会保険の加入について希望等、契約条件などを考慮し、雇入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してもらおうよう、伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>社内研修の定期的な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。また、利用者様一人一人に適切なケアを提供出来るよう、職員間でのケアの在り方を学べる全体会議や職員研修会など設けています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市町村等からの研修などや他施設見学等に参加することにより、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上を心がけています。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前に、ご家族や本人に要望や不安毎を聴き、利用開始時にはアセスメントをしっかり取り、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話して頂けるような関係性を持つようにしている。ご本人からの要望に対しては傾聴し、ケアに反映させるよう努めています。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人やご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用していただけるように努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、ご家族様にどのような生活スタイルを希望されるのかを伺います。その上で、小規模が適切かどうかも考慮し、サービスに繋げています。場合によってはGHや、他事業所などへの紹介も行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	小規模は、自宅の延長線上にあり、職員と利用者様が共に家族の一員とさせていただけるように努めています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と密に連絡を取り、常にご家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	小規模を利用していても常に利用者様の生活圏を考え、近隣や親せき、友人等の付き合い、なじみの店への買い物等の付き合い等支援しています。	生活歴、生活環境、利用者や家族との会話から馴染みの人や場を把握している。行きつけの商店、飲食店、美容室などに付き添い、関係継続の支援をしている。長期の「宿泊」サービス利用者には、家族や友人が来訪している。親戚や友人への手紙には、職員が住所を代筆したり、散歩を兼ねて投函をしに行ったりしている。電話の取り持ちをすることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会や季節の行事等、利用者同士の親睦を深め、利用者同士の会話がスムーズに行えるよう職員が間に入って配慮しています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了した方など、今後発生した場合は家族を通じて、他事業者への情報提供、支援を行っていきます。入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるように努めたいと考えています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファにて意向や希望の把握を随時行っています。好きなレクリエーションを行えるよう、さまざまな道具を用意したり、春からは畑で野菜の育成に携わってもらったり、ご本人が行いたいことをやって頂けるよう個別ケアを行っています。	利用開始時のアセスメントで、利用者の思いや希望を聞き、日々のかかわりの中でも把握に努めている。家族からも、家での様子や過ごし方を聞き、情報を得ている。一日の過ごし方は、テレビを見たり、パズルをしたりなど、自由に好きなことをしてもらい、事業所が自宅の延長線となるよう支援している。言葉での意思表示が困難な利用者には、拒否の態度や肯定のうなずきなどのサインなどから推し測っている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用していた担当ケアマネージャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や趣味等が継続できるよう、利用に至る経緯や生活環境なども職員間で共有し、今までの生活習慣が継続できるような支援に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており、職員一人一人が、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為、ご本人との会話を大切に、送迎時際にご家族に日頃の様子を伺い、職員からの情報を多く得て介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。	初回の介護計画は、居宅を訪問して、利用者、家族の希望を聞き取り、利用前のケアマネジャーからの情報も参考に作成している。見直し予定日の1ヶ月前から、暫定のモニタリングシートを回覧し、職員それぞれが記入をする方法で、サービスの実施状況と満足度の確認を行い、ケアマネジャーが集約し、再アセスメントをしている。通常は6ヶ月ごと、状況の変化があった場合は、随時見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に、時間ごとのご様子や、利用者様の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（今までの生活歴等）を考慮しながら必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の会員になっており、回覧板や町内会からの情報を得て、夏祭りなどにかけ、利用者様、職員共に楽しみを持っています。また地域のお祭りの際に、施設を神輿の休憩場として提供し、近くで神輿を見て頂くなどの楽しみを持って頂いています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と連絡を取り、受診後の心身状態を常に伺い、日常のケアに繋げています。また、独居の利用者様には職員が受診に付き添い、かかりつけ医との連携を図っています。	かかりつけ医への受診は家族が対応している。受診結果を報告してもらい、「受診記録」に記入し、職員間で情報を共有している。看護師は、基本的には週1回、健康管理や医療面での相談にあたっている。併設のグループホームと兼任であるため、継続した治療や緊急時の対応が可能な体制になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の申し送りやケアの中で、相談を行ったり、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な看護につながっています。また、看護師による介護職員への指導も行い、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中のお見舞いや家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握できるよう努めています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>小規模では現在までに具体駅対象に至るご利用様はおりませんが、ご利用時には、高齢であることによるリスクを含め説明しています。医師や看護師と連携を取り、ご家族やご本人の望む形で支援していきます。</p>	<p>利用開始時に、「利用者の急変時や重度化した場合等における対応に係る指針」を説明し、同意を得ている。利用者、家族の希望やニーズをくみ取り、話し合いながら、当該サービスで対応できる最大限の支援ができるよう取り組んでいる。看取り経験のある職員がいないことから、体験した看護師から話を聞くなどの研修から始めている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告。状況等事例や対策をたて、職員全員が対応できるように努めています。また、常にご家族と連携を取り、急変や事故発生時の場合、いつでも連絡出来る体制を整えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>川崎市中原消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備品も備えています。</p>	<p>防災・避難訓練は、消防署の立会のもと、併設のグループホームと合同で年に2回実施している。12月には、抜き打ちの夜間訓練を計画している。緊急連絡網で職員に集合を掛け、要した時間を確認し、夜間帯での課題を把握する予定である。自治会主催の防災訓練には職員が参加をしている。備蓄は、飲料水、災害用セット、乾パンなどで、近隣の住民に提供する準備もできている。敷地内には井戸があり、手動で汲めるようになっている。</p>	<p>自治会長や事業所オーナーには、連絡網にも入っていただき、連携が図られています。今後は、実際に訓練にも参加をいただき、課題を共有し、運営推進会議などで意見交換しながら、協力関係がより深まるよう期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるということ意識し、常に尊敬と敬意の念を持って接しています。たとえ、不穏状態が続いたとしても、その方の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応を行っています。	法人が、接遇やプライバシー保護についての新人研修を行っている。フォローアップ研修を通して、周知徹底を図っている。事業所内では、毎日接遇の言葉を唱和して、日常的に確認をしている。気にかかる声かけや対応が見受けられた時には、管理者が、後からさりげなく注意をしている。職員は、よそよそしくならない程度の敬語を使い、親しみのある態度で接していた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	危険な行為や言葉、他の方々に不愉快や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心がけています。また、どんな物がお好きか伺い、食事、飲み物、レクなどに反映できるよう心掛けています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や更衣、配膳の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又はのんびりと過ごしたいのか、聞いてから行動を共にしています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様がお見えになられた時、その方に合った服装だったり、また、手作りの物を着ている時など「お似合いですね」と声掛けし、会話に繋げています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様一人一人の好みや出来る力を把握し、おいしい物、好きな物を召し上がって頂けるよう努力しています。また調理や片づけ等、出来る範囲で職員と一緒にしてもらっています。	昼食、夕食はレシピ付きの食材宅配サービスを利用し、朝食は事業所で調達している。事業所の菜園で採れた野菜も、旬の新鮮な食材として食卓に上り、利用者に喜ばれている。利用者は、職員からの誘いに応じて、下ごしらえや配膳、後片づけなどを行っている。訪問日は、調理当番職員が献立や食材、調理方法を説明しながら食卓を回り、なごやかな食事風景であった。お花見やクリスマスなどの季節行事に合わせた会食、誕生日会、外食、出前なども楽しんでる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせて盛り付けたり、適切な水分量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。水分摂取量や食事摂取量は記録に残し、ご本人の嗜好に合わせた飲み物などを提供しています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守りや必要に応じて介助を行っています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。</p>	<p>排泄チェック表を活用して排泄パターンを把握し、タイミングを見計らった声かけをしている。利用者によって、食事や送迎時など定時誘導する場合もある。介助時は、利用者の視線の先に立たない、速やかにドアを閉めるなど、プライバシーに配慮している。腹部マッサージを施し、便座に腰かけてもらうなどの支援で、自宅ではできなかったトイレでの排泄が可能になり、排泄習慣の改善につながった事例がある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人一人の食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残し、ご家族に排便の有無を確認したりして、便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ（ヨーグルトや寒天使用）にて排便コントロールの支援を行っています。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の意思を尊重し体の状態も考慮し、気分よく入る声掛けを工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛けや誘導を行っています。</p>	<p>入浴は、利用者、家族の希望を反映した介護計画に沿って支援している。概ね午前から夕方までの時間帯に、週2回程度は入浴できるようになっている。当日の変更には柔軟に対応している。入浴を好まない利用者には、無理強いをせず、時間をずらして声かけをしたり、足湯に変更したりしている。脱衣所にヒーターを置き、室温管理をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	各利用者様が自由に居室やフロア にて過ごされています。お一人での 移動が不可能な場合は、その時の 状態観察を行ったり、ご本人に伺 ってから休息の支援を行っています。 夜間安眠して頂けるよう日中の 活動も考慮し支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	服薬は特に配慮をし、症状の変化 や経過などは家族へ必ず報告し、 職員、看護師ともに連携に努め ています。また、個人記録に添付 してある薬剤情報を確認しながら、 服薬の支援を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	お手伝いが出来る方には、フロア の掃除、台所仕事などを職員と共 に行き、職員から常に感謝の言葉 をお伝えしています。また、さま ざまなレクを用意し、ご本人の 出来ることを見出し、春先からは 裏庭の畑仕事を手伝って頂いたり、 日常生活の中で張り合いを感じて すごせるよう支援に努めています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している	日常の送迎の際、近隣の方には天 気の良い日は車ではなく徒歩にて 送迎を行っています。軽い運動、 四季の季節を感じられるよう散 歩を兼ねた送迎を行っています。 また、買い物に行きたいとの訴 えがあったら職員が同行し近く のお店へ出かけています。	地域の商店へ買物に行ったり、天 気の良い日はテラスや畑に出 ている。通いサービスの送迎時に 、長期の宿泊サービス利用者も 車に乗ってもらい、一緒にドライ ブを楽しむこともある。お花見 などの季節に合わせた外出行事 は、年間計画で立てられている。 「動物と触れ合いたい」という 利用者の一言から、近隣の商業 施設のペットショップへ行き、 帰りに外食をするという利用者 の思いに添った柔軟な外出支援 をしている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金の 所持したり使えるように支援し ている	花物語なかはら新館では使った 額を請求させて頂く立替制度を取 っています。ご希望に応じ、家族 の管理の下、少額のお金を持参 できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年末には、普段会えない方への年賀状を書いて頂く支援をしたり、日常のレクリエーションとして便箋・封筒を用意し、お手紙を書く支援をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	湿度、温度計を置き、適度な湿度、温度を保つよう、エアコン、加湿器の調整を行っています。日中はベランダより光を取り入れ季節感が感じられるよう、天気の良い日はベランダに出て庭の草花を見ながら会話に繋がっています。また、週に1回の生け花を利用者様の前で活け、季節の花を楽しんでいます。生けた花を小規模入口や玄関、フロア等に飾り、開花していくさまを楽しんで頂いています。	玄関や食堂には、法人の特徴でもある生花を活け、季節感を採り入れている。訪問時には、クリスマスツリーが飾られていた。利用者それぞれが好きなことをして過ごしてほしいとの配慮から、居室の一つをテレビ観賞専用の部屋にしている。居間の一角に「図書コーナー」と2~3人が同時に利用できる本格的な「足湯」を作り、いつでも利用できるようになってきている。続きのウッドデッキは、日当たりがよく、菜園を見ながらの外気浴を楽しむことができる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所作り 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様は、ご自分の席を意識されており、いつも、なじみの関係が保たれています。また、居室もいつも同じ居室を利用されることで「自分の居場所」の認識を持っておられ一人になりたい時は居室を利用されたり、楽しみたい時はフロアで過ごされたりされています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅が畳の方には、畳部屋を利用して頂いたり、お泊りが継続される場合には、ご自宅より使い慣れた物を持参して頂くなどの配慮を行っています。	泊まりの部屋は、居間・食堂を囲むように洋室側、和室側と配置され、木製の扉やふすまで仕切られている。卓上鏡、利用者で作った折り紙作品、観葉植物を活けた一輪ざし、和風の照明器具など、どれも落ち着いた風情のものを置き、民宿を思わせるような居室である。利用者は好みの居室を選び、携帯ラジオなどを持ち込んでいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレに認識出来るような目印をつけたり、洗面台にご自分の洗面道具を用意したり、声掛けにより、ご自分で出来るように支援しています。また、その方に合わせ、お手伝いを分配し「出来ること」の支援を行っています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語なかはら新館 小規模多機能

作成日 26年3月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	[災害対策] 現在避難訓練を年2回し、連絡網で自治会長、オーナーと連携を図っているが、避難訓練への参加はまだ出来ていない	火災や地震、水害等の災害時に地域と連携を取り、素早く安全に避難誘導出来る	運営推進会議等で防災について話し合う。 引続き自治会主催の防災訓練に職員が参加する。 施設の防災訓練にオーナーや自治会長にも参加して頂き、地域との連携を深めていく。(今年度3月の避難訓練にはオーナー参加)	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。